

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 愛知県 一宮市立 浅野小学校

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒491-0871
愛知県 一宮市 浅野 字野口 95 番地

E-mail asano-e@city.ichinomiya.aichi.jp

Website <http://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=2310148>

児童生徒数 男子 285名 女子 249名 合計 534名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

- 1 研究のテーマ 「浅野小学校におけるESDの取り組みについて」
～各学年の総合的な学習の時間におけるトピック（領域）の実践～

2 研究の内容

本校におけるESD（持続可能な教育）は、3年生以上の各学年の「総合的な学習」を中心に取り組んでいる。環境教育だけでなく、学年の主な行事との関連を考慮して、主たる取り組みを決め、年間計画を立てて取り組んでいる。

3年生…地域学習 4年生…環境学習 5年生…食育 6年生…国際理解

(1) ESDカレンダーの作成

ESDカレンダーを以下のように作成し、実践に取り組んだ。

カレンダー作成に当たって留意したことは、まず各学年の主たる取り組みに対して、どの時期にどの位時間を使うのかを確認した。今年度のポイントとして考慮したのは、以下の点である。

- ① 校務分掌上の担当者変更になったことで、新聞活用の中心を5年生とする。
- ② 国際理解として、どの学年も行う国際交流員を招いての取り組みの他に、外部講師を招いての学習機会を5・6年生に取り入れる。
- ③ 同じように環境教育についても、エコスクールとして取り組む4年生に外部講師を招いての学習機会を取り入れる。また、学校全体としての活動となるように考えていく。
- ④ 情報モラルの視点を入れた学習を全学年で行うように組み入れる。

総合的な学習の時間 年間計画表

	領域	時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年	地域・国際	25		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	情報	10		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
4年	環境・国際	25	○	○	○	○		○	○	○		○		
	情報	10	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
5年	食育・環境	35	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○
	新聞活用	10							○	○	○	○		
	福祉・国際	20			○	○		○		○				○
	情報	10		○	○	○		○	○	○		○		
6年	国際	50	○	○	○	○		○	○	○		○	○	
	環境・キャリア	10						○	○	○			○	
	情報	15	○	○	○	○				○	○	○	○	○

(2) 各領域の取り組み

① 地域

3年生の社会科を補充深化する形で取り組んでいる。年度末には、校区地図を作成している。校区内の歴史的な建物や場所については、自分達で足を運び、取材をしてまとめている。

② 国際理解

今年度は、一宮市の国際交流員を招いて、ニュージーランドの話聞く機会を持つことができた。各学年で、内容を検討して、それぞれの総合や教科等の内容に関連するようにした。4年生については、環境に取り組んでいるので、それぞれのお国の環境に対する考え方や小学校での取り組み内容を紹介してもらい、自分達の取り組みをもとに質問をして、話を聞くことができた。このようにして、



5年生なら食育、6年生なら日本との比較という点から話を聞き、質問し、教えていた

だくことができた。

英語活動をA L Tに来ていただき、全校学級で授業を行った。

6年生は、社会科の発展として修学旅行の目的地を調べたり、体験したりする活動を「自国理解」として行ってきた。昨年度は、作品展と関連付けて、水墨画に挑戦することにした。一宮市の生涯学習課に問い合わせ、外部講師に来ていただき、基本を学んで、各自が創意工夫した作品に仕上げるようにした。今年度は、図工の授業前段階として、扱うことにした。



③ 環境

3年生は、理科で草花やモンシロチョウの成長を観察した。市内各学校で行われている「ヤゴ救出作戦」も自然と環境を考える良い機会となった。



4年生では、社会科の「水」「ごみ」学習や東部浄化センター及び環境センターの見学で、環境保全に対する意識を高めた。総合的な学習の時間では、エコスクール運動の一環として、エコレンジャー活動を行った。各クラスで曜日や場所を決め、放課や掃除の時間に節水や節電、ゴミの分別の呼びかけをしたり、各クラスにあるリサイクルボックスの回収をしたりしている。そこで、地球温暖化について外部講師を招いてお話を聞き、学芸会では、環境をテーマに劇化したものを保護者や地域の方々の前で発表した。



その他、学校全体での取り組みとして、「エコキャップ運動」「一人一鉢運動」「地域清掃活動」があり、さらには、委員会活動として「緑のカーテン」、学校に隣接する畑で1～3年生による「サツマイモの栽培」も実施している。

④ 福祉

5年生で、「福祉実践教室」を行っている。他人を思いやるやさしい心を持つ子供達になるよう夏休みの野外教育活動でも「協力」「思いやり」からなる「笑顔」を目標に掲げてきた。3学期には、近くの保育園に行き、交流会を行っている。

⑤ 食育

5年生は、理科の発芽の学習で使用した大豆を育てて収穫し、とれた大豆で浅野オリジナルブレンド味噌づくりを行っている。味噌作りは大豆を煮ることから始まり、そこから大豆を細かくつぶし麹などを混ぜ合わせて1日かかりで作る。作った味噌は1年間発酵させ、6年生の学校公開でみそ汁を作って家族をもてなした。



⑥ 新聞活用

高学年の毎日の活動として、朝の会での新聞記事紹介を行っている。それをもとに2学期の後半で、今までストックしてきた記事をB紙にまとめていくようにさせる。今年度は、5年生全体で、テーマを決めて、一人一人に取り組みさせた。

⑦ 情報

1年生から学年の発達段階に応じて、総合的な学習の時間を含めた教科等で、ワープロソフトやデジカメのデータの取り込みを行い、活用できるようにしている。今年度は、特に「情報モラル」について、各学年での実践を計画し実践した。右図のような分かりやすい模擬アプリや画面をもとにどのように対処していけばよいのかを考えさせたり、道徳の授業も関連させたりして、モラル向上を図った。



3 研究の成果と課題

ESDカレンダーを作成することによって、「総合的な学習の時間」を有効に使うように計画できた。各学年の中心テーマである「地域」「環境」「食育」「国際理解」において、外部講師を招くことができ、積み重ねられてきた実践の幅が広がった。

一方、子供達が自ら学んで行く姿勢を大切にした課題解決学習となる授業の組み立て方(単元構成)をさらに考えていきたい。次年度の年間計画を見直し、核となる体験活動や外部講師導入を組み込んでいき、自らの課題を解決していく授業実践ができるようにしていきたい。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()